

基礎分野

科目名	心理学			担当者	青柳 賢治 綱川 弘樹		
履修学年	1年次	単位数	1単位	時間数	30時間	実務経験の有無	
科目目的	人間の行動の基盤となる、心の動きや、行動との関連を理解するとともに、自己理解、他者理解を深める。人々の多様な価値観が理解でき、より良い人間関係を作る能力を身につける。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の心と行動について理解を深めることができる。 2. 人間や自分についての理解を深め、自己の特徴を述べるができる。 3. 自分を知り、他者を知ることが看護実践につながることに気づくことができる。 						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1～8	2×8回	心理学とは、心理療法について、知覚と記憶、感情と欲求、学習、感情と動機づけ、性格とパーソナリティ、社会と集団、発達	講義
9～15	2×7回	オリエンテーション／適応機制・ピアジェの発達理論・来談者中心療法・レスポンド条件づけ・オペラント条件づけ・ストレスマインドフルネス・インナーチャイルド・児童虐待 等	講義

教科書・参考図書	「系統看護学講座 心理学」医学書院
成績評価方法	試験100%、講義への積極的参加・毎回講義毎の振り返りを含む
履修上の注意点	人間関係論と続けて学習していく。

基礎分野

科目名	論理学			担当者	上田 徹		
履修学年	1年次	単位数	1単位	時間数	30時間	実務経験の有無	
科目目的	思考の技術と法則を身につけ、論理的思考と文章表現方法を身につける。						
到達目標	1. 論理的な文章を書くために必要な思考方法を説明することができる。 2. 演習を通して、論理的な文章を書くことができる。						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1~15	2×15回	論理学とはなにか,論証構造の分析、様々な接続関係 接続構造の分析、否定と排中律 等 演習をまじえながら実施	講義

教科書・参考図書	「まったつゼロからの論理学」岩波書店
成績評価方法	試験100%、講義への積極的参加・講義中の提出物を含む
履修上の注意点	文章を書くことが多い、論理的な思考を身につける機会とする。

基礎分野

科目名	人間工学			担当者	三澤 哲夫		
履修学年	1年次	単位数	1単位	時間数	15時間	実務経験の有無	
科目目的	作業方法や作業環境を人間の特性に合わせることで安全・健康を守る技術の基礎的な考え方を理解し、安全・健康に配慮した看護実践を行うことができる知識・能力を身につける。						
到達目標	1. 基礎的概念の理解と、看護との関わりについて把握することができる。 2. 安全・健康に配慮した看護実践を考えることができるようになる。						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1・2	4	人間工学の歴史・意義及び看護における役割	講義
3・4	4	ヒューマンエラーとその対策について	講義
5・6	4	ボディメカニクスと看護への応用について	講義
7・8	4	看護姿勢・動作と負担軽減及び総括	講義

教科書・参考図書	「イラストで学ぶ看護人間工学」東京電機大学出版局
成績評価方法	試験70%と講義の積極的参加と振り返り30%
履修上の注意点	看護技術と関連付けて考えるようにする。

基礎分野

科目名	看護に生かす統計学			担当者	相羽 明		
履修学年	1年次	単位数	1単位	時間数	15時間	実務経験の有無	
科目目的	統計学の基礎を学び、看護の場で応用できる統計的なものの見方と統計処理の基本を知る。						
到達目標	1. 統計とはなにか述べることができる。 2. 確率や確率分布など基本的な考え方がわかり、理解が深まることができる。 3. 保健統計のうち基本的なものについてデータを読み取る力をつけることができる。						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1~8	2×8回	1. 統計データのまとめ方 2. 確率 3. 順列組合せ、確立分布 4. 二項分布 5. 正規分布 6. 推定 7. 検定 8. 相関係数	講義

教科書・参考図書	「系統看護学講座 統計学」医学書院
成績評価方法	試験100%、講義への積極的参加講義中の提出物を含む
履修上の注意点	

基礎分野

科目名	情報科学			担当者	梅津 信幸		
履修学年	1年次	単位数	1単位	時間数	30時間	実務経験の有無	
科目目的	情報の科学的なとらえ方と、効果的な活用方法について理解できること、また、専門職業人としての研究的態度の基盤を養う。						
到達目標	1. 情報の科学的なとらえ方と、効果的な活用方法について理解を深めることができる。 2. コンピューターを操作することができる。 (1) 文書の作成ができる。 (2) データの分析ができる。 (3) プレゼンテーションの資料が作成できる。						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1~15	2×15回	・タイピング入門、パワーポイント(プレゼンテーションの基礎、良いパスワード、スライド例) ・プレゼンテーション実習 ①ワード ②エクセル(関数及びグラフを含む) ③画像データの仕組み ④プログラミング ⑤スクラッチ ・講義のまとめ	演習

教科書・参考図書	配布資料を保存する。
成績評価方法	講義への積極的参加・毎回の課題で評価する。
履修上の注意点	演習においては、情報学習室にて1人1台使用にて行う。授業用USBの準備が必要。

基礎分野

科目名	データリテラシー			担当者	梅津 信幸		
履修学年	1年次	単位数	1単位	時間数	15時間	実務経験の有無	
科目目的	データを読み、使い、分析し、適切に使いこなす能力を養う。						
到達目標	情報科学で学んだことを基礎に、パソコンを利用して、実践に役立つデータ分析の手法を学び、データを読み解ける基礎を身につける。						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1~8	2×8回	1. データを説明する値 2. 相関、散布図 3. データの取り出し方と偏り 4. グラフの使い分け 5. ヒストグラムと確率 6. インターネットとリテラシー 7. お金のリテラシー 8. まとめ	演習

教科書・参考図書	配布資料を保存する。
成績評価方法	講義への積極的参加・毎回の課題で評価する。
履修上の注意点	演習においては、情報学習室にて1人1台使用にて行う。授業用USBの準備が必要。

基礎分野

科目名	キャリアデザインとマナー			担当者	天谷龍夫・青柳智和・渡辺繭美		
履修学年	1年次	単位数	1単位	時間数	15時間	実務経験の有無	有
科目目的	専門職として成長し続けるためのキャリアマネジメントの必要性を学び、専門職として必要なマナーとコミュニケーションを身につけることができる。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人として求められる資質について述べるができる。 2. 看護職におけるキャリアマネジメントについて説明でき、自分の考えを深めることができる。 3. 専門職として必要なマナーとコミュニケーションを身につけることができる。 4. 看護専門職業人としての自覚を持つ機会となるようにする。 5. 学習の場に積極的に参加することができる。 						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法	
1	2	キャリアデザインについて	講義	教員
2	8	講義・セミナーを受講することで社会人として求められる資質を育てる。	講義	各講座 セミナー 講師 (タバコ: 薬物:)
3		・学生生活の過ごし方・マナー講座		
4		・知って役立つ労働法セミナー ・くらしのセミナー ・年金セミナー ・睡眠セミナー		
5		・スマホ・ケータイ安全教室 ・知ってほしいタバコのこと ・薬物乱用防止教室 ・交通安全教育 ・ビューティーセミナー		
5		各50分～60分		
6	2	先輩の話より学ぶ	講義	外部講師
7	2	看護職としての情報リテラシー(DVD)	講義	教員
8	2	「なりたい自分」のグループワーク・発表	演習	全員

教科書・参考図書	配布資料を保存する。
成績評価方法	講義・グループワークへの積極的参加50%・提出物50%
履修上の注意点	講義・セミナー形式で実施

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。
渡辺繭美:11年間病院にて看護師として勤務

基礎分野

科目名	人間関係論			担当者	青柳 賢治・高根澤 和子		
履修学年	1年次	単位数	1単位	時間数	30時間	実務経験の有無	
科目目的	個人としての人間性を豊かにし、人間を幅広く理解し、より豊かな人間関係を築くことができるための基本的知識と技術を修得する。						
到達目標	<p>1. ここでの学びが、対象者との援助関係・信頼関係を形成することに繋がり、看護師としての質の高いケアの提供のために必要であることに気づくことができる。</p> <p>2. 看護実践場面でいかせる、人間関係をつくる理論と技法について説明することができる。</p> <p>3. 体験学習に参加し、目的を理解し積極的に行動することができる。</p>						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1・2	4	自己理解・他者理解 / エリクソンの発達段階	講義
3・4	4	対人スキルの発達 / 援助の流れ	講義
5・6	4	援助の流れ / 発達障がいの理解とSST	講義
7・8	4	うつの理解と回復	講義
9	2	体験学習オリエンテーション ①こころのグラフ・人とつながろう	講義
10	2	体験学習オリエンテーション ②カウンセリング・傾聴・話題を探そう・対人認知・ステレオタイプ	講義
11・12	4	体験学習「パッチアダムス鑑賞」及び「ワークショップ」	演習
13・14	4	体験学習「アイスブレーキング・他」	演習
15・16	4	体験学習 hiper-QU・アサーション / グループ学習・発表	演習

教科書・参考図書	「系統看護学講座 人間関係論」医学書院
成績評価方法	試験100%、講義への積極的参加・毎回講義毎の振り返りを含む
履修上の注意点	体験学習を含むため積極的に参加してください。

基礎分野

科目名	英語・英会話			担当者	上村 由美 マイケル・パトリック		
履修学年	1年次	単位数	1単位	時間数	30時間	実務経験の有無	
科目目的	英語によるコミュニケーションに必要な基礎的能力と看護活動に役立つ英語の能力を身につけ、国際社会に対応できる能力を養う。						
到達目標	1. 簡単明瞭な話がわかり、メモすることができる。簡単な課題でコミュニケーションをとることができる。 2. 病院における英会話の基礎的知識を身につけることができる。						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1～8	2×8回	医学・看護用語	講義
9～15	2×7回	読解力・聴解力・会話力	講義

教科書・参考図書	「BedsideMannerBeginner3rd ed.」
成績評価方法	試験100%、講義の積極的参加を含む
履修上の注意点	英会話の試験は口頭にて行う。

基礎分野

科目名	健康科学			担当者	宇都宮優子・寺門由絵・ト部和美		
履修学年	1年次	単位数	1単位	時間数	15時間	実務経験の有無	
科目目的	健康についての維持増進や生活習慣病予防について理解する機会とする。身体活動をとおして健全な心身をつくり、芸術鑑賞を通して感性豊かな人間性を身につける。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体活動をとおして健全な心身をつくり、健康と体力について考えることができる。 2. 感性豊かな人間性を身につける。 3. 専門職業人としての自覚をしっかりとつことができる。 4. 1日の団体行動をとおして自律的に行動することができる。 						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1～4	2×4回	体育実技(ヨガ)	演習
5～8	7	芸術鑑賞	演習

教科書・参考図書	なし
成績評価方法	実技への積極的参加・見学後のレポートによって総合的に評価する。
履修上の注意点	安全に行動できるようにする。

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。

寺門由絵: 6年間病院にて看護師として勤務

ト部和美: 16年間病院にて看護師として勤務

基礎分野

科目名	生物学			担当者	北野 誉・海野 昌喜		
履修学年	1年次	単位数	1単位	時間数	15時間	実務経験の有無	
科目目的	生き物の体の仕組みを理解し、専門基礎科目への導入を図れるようにする。						
到達目標	1. 生物学への興味をもつことができる。 2. 生物学的に見た人の特徴が説明することができる。 3. ヒトの生命活動の基本単位である細胞の成り立ちと細胞が増える仕組みを説明することができる。 4. 生命の生殖、発生、遺伝について説明することができる。 5. 個体の調節としてのホメオスタシスについて説明することができる。						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1	4	生命体のつくりとはたらき、生命維持のエネルギー	講義
2	4	細胞の増殖とからだのなりたち、遺伝情報とその伝達・発現のしくみ	講義
3	4	生殖と発生、個体の調整	講義
4	4	刺激の受容と行動、生命の進化と多様性、生物と環境の関わり、地球環境とヒトとの共存	講義

教科書・参考図書	「系統看護学講座 生物学」医学書院
成績評価方法	試験100%、講義への積極的参加・毎回講義毎の振り返りを含む
履修上の注意点	解剖生理学、微生物学、生化学などとあわせて知識を習得できるようにする。

基礎分野

科目名	家族と社会学			担当者	若林 千津子		
履修学年	2年次	単位数	1単位	時間数	30時間	実務経験の有無	有
科目目的	人間の生活の基盤である社会を知り、人間と社会の関係を学ぶ。社会の成り立ちとしくみ家族のあり方を理解することにより、広い視野に立って考え行動できる能力を養うことができる。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間と生活の基盤である社会を知り、人間と社会の関係を理解することができる。 2. 社会の成り立ちとしくみ、家族のあり方を理解することができる。 3. 家族のあり方を理解することで、広い視野に立って考え行動することができる。 						

授業計画

回	時間	授業内容	授業方法
1・2	4	家族看護の対象理解 (1)	講義
3・4	4	家族看護の対象理解(2)	講義
5・6	4	家族看護とは	講義
7・8	4	家族看護の展開方法	講義
9・10	4	社会学とは(1)	講義・演習
11・12	4	社会学とは(2)	講義・演習
13・14	4	社会学とは(3)	講義・演習
15	2	社会学とは(4)	講義・演習

教科書・参考図書	「系統看護学講座 家族看護学」医学書院
成績評価方法	試験100%、講義への積極的参加・毎回講義毎の振り返りを含む
履修上の注意点	